



INGING MOTORSPORT OFFICIAL WEBSITE OF PAPER [http://www.inging.co.jp]

# INGING NEWS PAPER 2010 VOL.05

FREE  
無料

「進歩から  
進化へ、  
そしてその先へ。」

Topics

## THE FEELING WITH THE MACHINE IS SOUGHT.

限られた時間の中での、チェックアンドトライを繰り返し  
黄色い相棒とのフィーリングを詰めていく。

Race Report

Round.4 TWIN RING MOTEGI 8/18Final  
決勝 2010年8月18日 ツインリンクもてぎ

Round.5 SPORTSLAND SUGO 9/25 - 9/26

Support by cyber net

INGING NEWS PAPER VOL.5 [インギング ニュースペーパー]

2010年09月発行 通巻6号

発行：株式会社インギング ネットワーク デベロップメント  
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-25-7 CNLビル

# Topics ADVANCEMENT TO EVOLUTION

道から進化へ、そして先へ。

## THE FEELING WITH THE MACHINE IS SOUGHT.

限られた時間の中での、チェックアンドトライを繰り返し黄色い相棒とのフィーリングを詰めていく。

前日の予選では過去3戦からの進歩を感じさせたチームDELIZIEFOLLIE/CERUMO-INGINGと井口卓人。

14番グリッドからの上位進出を狙うために、再び快晴に恵まれた日曜。決勝への最後の調整時間となる午前9時35分からのフリー走行に臨んだ。

井口はこのフリー走行でのベストタイムを1分38秒995で終え、最終的なポジションは15番手となったものの、満タン状態でフィーリングが今ひとつだったこともあり、井口とチームは決勝までにさらなる調整をマシンに施すこととなった。



### RACE COMMENT

Final TWIN RING MOTEGI 8/18

#### Race Report

## LEVEL UP, AND GOING TO THE NEXT STAGE!



#### TEAM DELIZIEFOLLIE/CERUMO-INGING

##### スーパーバイザー: 立川 祐路

「今回の井口は暑い中、最後まで集中してバトルマシンと歩んでレース中のペース自体もこれまでよりかなり高く、良く回っているのは驚かされた。次のレースあたりで、もう少しペースを上げたいという思いはありますし、早くチームの勢も上げていきたいと考えています。」

##### 29 井口 卓人

「本当に早く、クワトロでした。スタートもまずまず決まり、前半戦は前のグループと同じようなペースで進んでいくことが出来ました。ピットイン後、伊沢選手に近づいたものの最終的に追いつけず順位は10番手になりました。レース後は、52周まで走り続けるのはかなり大変な気がしますが、手袋がジーンズについてしまったので、結果は12位と残念なレベルは上がってほしいと思います。次の出走までにトレーニングをしっかりとって、良いレースが出来ようと思います。」

#### Round.4 TWIN RING MOTEGI 8/18 Final

決勝 2010年8月18日 ツインリングもてぎ

激しく精神を消耗し、集中力をいつも以上に要するレースだったが結果としては、レベルアップを確実に感じざる1戦となった。

##### < 決勝レース/52周 > 天候: 晴れ | コース状況: ドライ

迎えた決勝は52周の戦い。路面温度が58℃にも達する中、午後2時15分にフォーメーションがスタート、イングリッド14番グリッドの井口も、マシンをウェービングしながらタイヤを温めていく。

井口は中央に切れ込みながら好スタートを切ったが、周囲のマシンもま

ずまずのスタートを切っており、1コーナーでの井口はポジションキープの14番手。2コーナーを立ち上がったところで、中段につけていた松田次生と井出有治が交錯し、松田がスピン。井口はこのアクシデントをうまく

かわし1周目を確実な大に次ぐ12番手の浮上を果たすことに。

目の前で展開される伊沢氏也、厚層の攻勢を見ながら、僅差で追走する井口だったが、背後にはペースに勝る石浦が迫り、4周目の2コーナー立ち上がりでインを強襲される。このため井口は僅かにコースオフを喫し、石浦の先行を許してしまい13番手に。

ところが、その翌周には3番手を走っていたアンドレ・ロッテラーがトラブルのためにスローダウンし、劣勢下で井口は12番手に再浮上。伊沢、石浦、井口の3台による三つ巴の10~12番手争いが続く。ペースの速い伊沢を攻め立てる石浦の背後で、井口も隙あらばとコンマ数秒差での追走をみせる。

11番手を行く井口は、19周目に9番手の井出のピットインで10番手に浮上。25周を迎えたところで、ピットではタイヤ交換の準備が行われるが、実は決勝用にニュータイヤを1セット選定していたDELIZIEFOLLIE/CERUMO-INGINGは、レースの折り返しとなる第



26周目にピットインしてきた井口に、このニュータイヤを装着。メカニックたちは20秒7の迅速な作業で、給油を済ませた井口をコースに送り出す。

ニュータイヤを得た井口のペースは力強く、28周目に1分40秒687、29周目に1分40秒611とベストタイムを打ち更新するなど、上位層と同等のペースを刻み始める。

さらに33周目、1分40秒469の自己ベストをマークした井口は、ペースの悪い10番手の伊沢を駆逐。当初10秒以上あったギャップをじりじりと縮め、35周目には6秒を切る状況に。コンマ数秒差の攻勢を繰り返す井口と厚層は伊沢に追いつき、43周目には三つ巴の戦いに発展するが、3コーナーで井口のインを奪った厚層に先行され、井口は12番手に後退する。

緊迫した11~12位争いはモニターにも映し出され、チームスタッフたちも頭をのんで見守ることとなったが、ここで運悪くトップのロイック・デュバルなどのマシンが2台の攻勢に追いつき、井口はむくむく進路を譲ることとなった。いったん広くなった間隙を再び縮め、最終ラップまで伊沢を攻め立てた井口だったが、残念ながらチャンスを逃がれず、そのまま井口は12位でチェッカーを受けること。

マシンを降りた井口は、暫く長い戦いを終え消耗しきった状況だったが、結果としては12位ながら前戦に続いてまずまずの戦いを見た。そんな井口とチームは好うこととなった。